



第86期 中間期

株主・投資家の皆さまへ

2023年4月1日 — 2023年9月30日

特集1

身近なところで生きる
アマダの技術 Vol.9 病院編

特集2

アマダを知るVol.17
アマダ・グローバルイノベーション
センター (AGIC) のご紹介

株主さまQ&A

社長に聞く

「働きがいのある職場づくり」を目指して

株式会社アマダ

証券コード：6113



ごあいさつ

いつも温かなご支援・ご指導を賜り、誠にありがとうございます。

アマダグループは、2023年5月に持続的な成長と企業価値向上に向けた具体的なアクションプランとして「中期経営計画2025」を策定し公表しました。

成長戦略や資本政策の実行に加え、企業の社会的責任を果たすべくESG経営にも積極的に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長
磯部 任

代表取締役社長執行役員
山梨 貴昭

売上収益・営業利益・当期利益において中間期累計で過去最高を更新しました。

当中間期の概況について

当中間期の経営成績は、自動化や省人化に対応した生産性向上に資する商品需要の高まりや生産活動の正常化を背景に売上収益は1,870億円(前年同期比10.4%増)となりました。

国内の売上収益は建設関連向けの販売が引き続き好調に推移したことにより688億円(前年同期比4.5%増)となりました。また、海外の売上収益は1,181億円(同14.2%増)となりました。北米では、インフラ投資需要や北米域内でのサプライチェーン再構築による設備投資需要を背景に販売が拡大しました。欧州では、投資優遇措置を継続しているイギリスの他、イタリアやスペインで売上が伸長しました。アジアおよ

びその他地域では、景気後退局面にある中国の影響はあるものの、台湾やインドを中心にインフラ関連への投資が堅調に推移し、増収となりました。

事業別の売上収益は、金属加工機械事業は1,547億円(前年同期比11.5%増)、金属工作機械事業は316億円(同5.8%増)といずれも増収となりました。

損益面につきましては、資材費や人件費が増加する中、増収効果に加え、操業度の向上および販売価格の改善が寄与し、営業利益は272億円(前年同期比14.5%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は197億円(同16.2%増)となりました。

この結果、売上収益、営業利益、当期利益のいずれにおいても中間期累計で過去最高を更新しました。

2024年3月期連結決算ハイライト	当中間期	前中間期	前年同期比	通期(予想)	前期	前期比(予想)
売上収益	1,870億円	1,694億円	10.4%増↑	3,950億円	3,656億円	8.0%増↑
営業利益	272億円	238億円	14.5%増↑	570億円	498億円	14.3%増↑
親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益	197億円	170億円	16.2%増↑	390億円	341億円	14.2%増↑

通期業績予想の上方修正について

中間期までの業績に加え、直近の受注環境や想定為替レートの変更等を反映した結果、通期の業績予想を上方修正しました。

修正後の予想は、売上収益3,950億円(前期比8.0%増)、営業利益570億円(同14.3%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益390億円(同14.2%増)を見込んでいます。

中期経営計画2025について

アマダグループは、2023年度から2025年度までの3カ年の「中期経営計画2025」を策定し、重要経営指標として売上収益4,000億円、営業利益640億円(営業利益率16%)、ROE8%以上を掲げています。

戦略方針として、自動化・省人化に対応した新商品の拡販によるシェア拡大やお客さまのニーズに即したアフターサービス事業の展開による利益率の向上等に取り組むことに加え、長期成長を見据え、これまで培ったレーザー技術を応用することによりe-Mobility・医療・半導体等新たなビジネス領域の拡大を目指します。

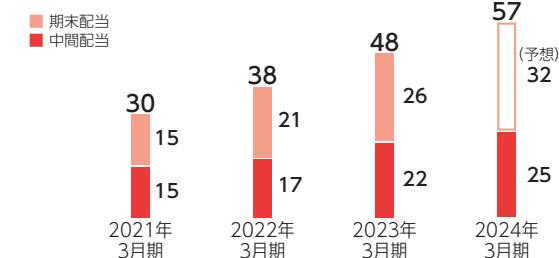
あわせて、ESG(環境・社会・ガバナンス)に関する非財務目標にも重点的に取り組むことで、さらなる企業価値の向上を図ってまいります。

株主の皆さまへ

当社の株主還元の基本方針は、成長投資に軸足を置きつつ、配当性向50%を目安に株主資本配当率(DOE)3%~4%程度の範囲内で配当額を決定し、自己株式の取得に関しましては、キャッシュ・フローの状況等を考慮したうえで、継続的かつ段階的に実施することとしています。これを踏まえ、本年5月に200億円を上限とする自己株式の取得を決議しており、当中間期までに73億円の取得を実施しております。

当中間期の配当は、当初の予想どおり1株につき25円とさせていただきます。期末配当予想につきましては、通期業績予想の上方修正および上記配当方針を踏まえ、当初の予想より7円増配し、32円とさせていただきます。この結果、年間配当は前期比で9円増配となる57円を見込んでいます。

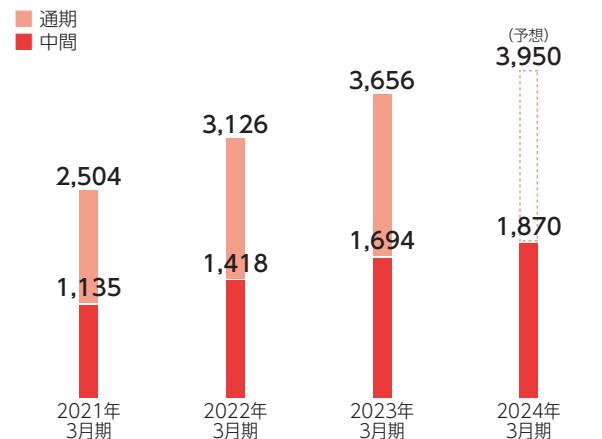
配当金の推移(単位:円)



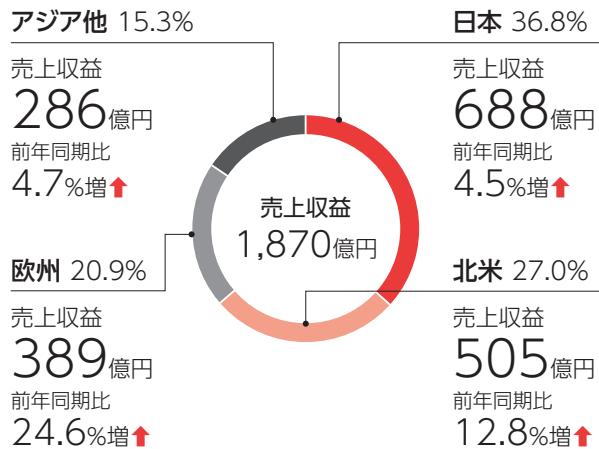
連結業績の推移

当中間期のポイント 底堅い設備投資需要による増収効果や販売価格の改善に加え、為替の影響等により売上・利益ともに中間期累計で過去最高を更新。地域別では欧州、北米が堅調に推移しました。

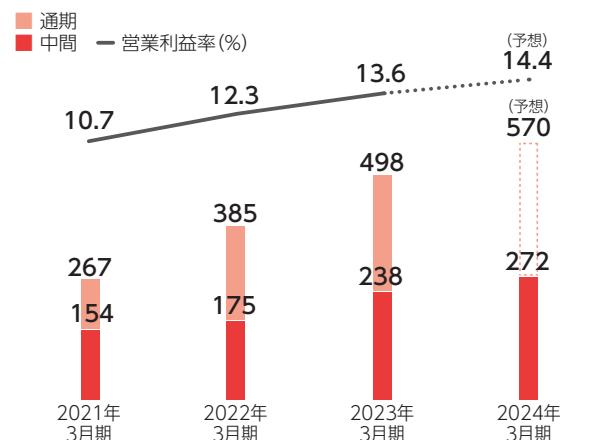
売上収益



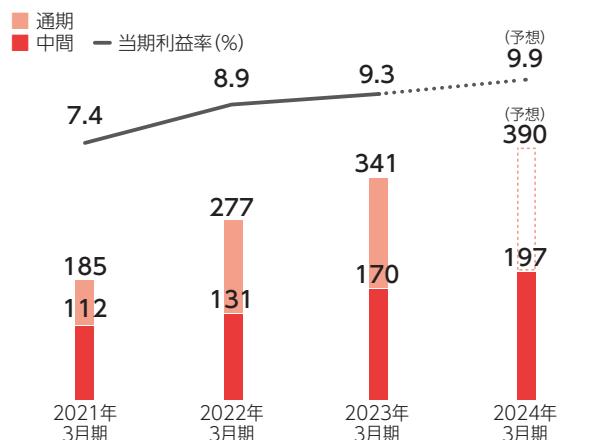
地域別の状況



営業利益



親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益



連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	当中間期末 2023年9月30日現在	前期末 2023年3月31日現在
資産		
流動資産	419,063	398,716
非流動資産	249,390	248,846
有形固定資産	180,417	176,668
無形資産	12,082	11,810
その他	56,889	60,365
資産合計	668,454	647,562
負債		
流動負債	120,928	121,013
非流動負債	17,888	18,028
負債合計	138,817	139,041
資本		
資本金	54,768	54,768
資本剰余金	143,883	143,883
利益剰余金	299,020	288,300
自己株式	△19,448	△12,099
その他の資本の構成要素	46,851	29,273
親会社の所有者に帰属する持分合計	525,075	504,127
非支配持分	4,561	4,393
資本合計	529,636	508,521
負債及び資本合計	668,454	647,562

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当中間期 自 2023年4月1日 至 2023年9月30日	前中間期 自 2022年4月1日 至 2022年9月30日
売上収益	187,051	169,403
売上原価	△103,574	△95,323
売上総利益	83,477	74,080
販売費及び一般管理費	△56,477	△50,944
その他の収益	667	866
その他の費用	△394	△189
営業利益	27,272	23,812
金融収益	4,537	4,349
金融費用	△3,519	△3,975
持分法による投資利益	139	139
税引前四半期利益	28,430	24,326
法人所得税費用	△8,568	△7,223
四半期利益	19,862	17,103
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	19,759	17,001
非支配持分	102	101
四半期利益	19,862	17,103

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当中間期 自 2023年4月1日 至 2023年9月30日	前中間期 自 2022年4月1日 至 2022年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,494	6,658
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,259	△12,309
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,441	△10,630
現金及び現金同等物に係る換算差額	△121	257
現金及び現金同等物の増減額	△15,328	△16,023
現金及び現金同等物の期首残高	98,556	106,791
現金及び現金同等物の四半期末残高	83,228	90,767

金属加工機械事業 82.8%

板金部門 微細溶接部門

売上収益 1,547 億円
前年同期比 11.5%増↑

当中間期のポイント

- 板金部門は、底堅い設備投資需要を背景に建設関連やインフラ関連向けの販売が堅調に推移し増収となりました。
- 微細溶接部門は、各国でEV関連向けにレーザー溶接機器の販売が拡大し、欧米では医療機器向けの販売が好調に推移しました。

板金部門

微細溶接部門



売上収益 1,394 億円
前年同期比 12.2%増↑



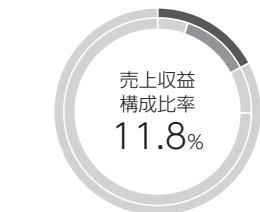
金属板に穴をあけたり、切断や折り曲げ等を行うマシンを扱っており、複数の加工を同時に行う複合機や自動化の提案も行っています。



売上収益 153 億円
前年同期比 5.0%増↑



金属同士を溶接するマシンを扱っており、レーザーを用いた微細溶接をはじめ、電気抵抗を利用した精密抵抗溶接にも対応しています。



売上収益 220 億円
前年同期比 9.9%増↑



金属の塊を切断したり、穴あけを行うマシンや金属の表面を削ってきれいに仕上げるマシンを扱っており、素材に応じた様々な加工を高精度で行うことができます。

プレス部門



売上収益 96 億円
前年同期比 2.6%減↓



金属板に圧力をかけて成形するマシンを扱っており、複数のマシンと搬送ロボットを組み合わせた自動化システムの提案も行っています。

金属工作機械事業 16.9%

切削・研削盤部門 プレス部門

売上収益 316 億円
前年同期比 5.8%増↑

当中間期のポイント

- 切削・研削盤部門は、国内では建築関連向けに切削マシンの売上が伸長し、欧米ではバンドソーや超硬ブレードの販売が増加しました。
- プレス部門は、国内で自動車業種関連向けの停滞により減収となったものの、中国でEV関連向けにサーボプレスの導入が進み売上が伸長しました。

身近なところで生きる
アマダの技術 Vol.9

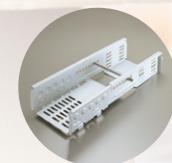


私たちアマダグループは金属加工機械の総合メーカーです。私たちがお客さまに提供するトータルソリューションを用いてつくられた数多くの金属部品は、皆さまが普段何気なく目にしているものに使われています。今回は、病院で生きるアマダの技術をご紹介します。



MRI・CT 装置

MRI や CT 装置などの本体を支える躯体や筐体部分には薄板から厚板まで様々な板金加工が施されています。



ステント*

血流を確保するステントは腐食に強く強度が適しているステンレスでつくられており、微細レーザー切断で加工されています。



手術用照明

電球を保持する部分、自在に動くアーム部分などに軽くて丈夫な板金加工部品が使われています。



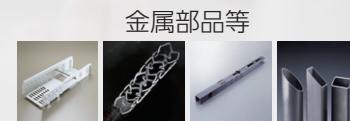
点滴スタンド

骨組みのパイプ部分には切断、穴あけ等の加工が施されています。



*ステント…血管内に留置する直径2~3mmの筒状の金属の網。主に血管が狭くなった部位を拡張する目的で使用される。

金属部品ができるまで



当社WEBサイトにて、様々なところで活用されるアマダの技術を紹介するコンテンツ「身近なところで生きるアマダの技術」を掲載しています。ぜひご覧ください。

→ https://www.amada.co.jp/ja/products_made/



アマダ・グローバルイノベーションセンター(AGIC)のご紹介

本年2月、神奈川県伊勢原事業所内において「アマダ・グローバルイノベーションセンター(AGIC)」がオープンしました。

AGICは、世界のお客さまが求める「新素材や新加工技術への対応」、「自動化・生産性の向上」といった課題を解決して、生産革新の提案をすることを目的に開設されました。既存のソリューションセンターを全面刷新した延床面積約30,000㎡と業界世界最大規模を誇る最新鋭の施設です。

AGICは「お客さまとともに金属加工の未来を共創する空間」をコンセプトにしており、主に、「Innovation LABO」「Innovation SITE」「Engineering FIELD」などのスペースから成ります。



◆ Innovation LABO

最新のマシン・ソフトを取りそろえた9つのラボルームと、先端検査機器を常備した測定室を用意しています。お客さまが抱える様々な課題をお客さま自らが当社技術スタッフとともにテスト加工し、加工品質の精緻な検証ができるため、スピード感のある研究開発が可能です。



万全のセキュリティ

各ルームは仕切られており、ドアにはIDシステムを設置。情報の機密性が高い環境でテスト加工が行えます。

◆ Innovation SITE

90種類を超える最新のアマダのマシンを紹介するスペースです。

マシンの展示だけでなく、機構や構造・要素技術も含めた最新テクノロジーについて訴求しています。



Laser Zone

最新のファイバーレーザーマシン群と自動化周辺装置のエリアです。



各種検査機器を完備

用途に応じた先端検査機器を常備。厚板加工から微細溶接まで、加工品質の精緻な検証が可能です。

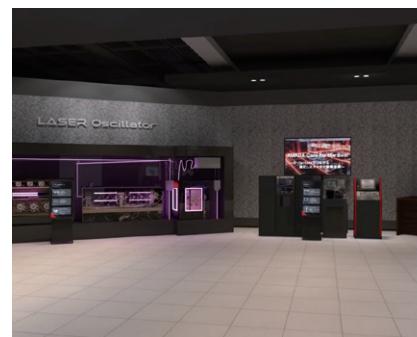


Welding Zone

ファイバーレーザー溶接マシン群のエリアです。

◆ Engineering FIELD

アマダのサービスビジネスの変遷と進化を訴求するエリアです。お客さまの工場を総合的にモニタリングし、モノづくりを最適化するデジタル・ソリューションを提案しています。



Engineering FIELD

マシンの保守からソフトや加工のサポートまで広がるアマダの稼働保障を体感できます。

株主さま向け施設見学会のご案内

今回ご紹介しましたAGICに抽選で40名様をご招待いたします。

日 程 2024年3月23日(土) 13:30~16:30
見 学 場 所 アマダ・グローバルイノベーションセンター(AGIC)
神奈川県伊勢原市
集合・解散場所 アマダフォーラム(小田急線「愛甲石田駅」下車、徒歩10分)
※現地集合、現地解散となります。
対 象 者 2023年9月末現在、当社株式100株以上保有の株主さま
※株主さまご本人および同伴者さま1名(小学生以上)のご参加が可能です。
ご応募の際に同伴者の有無をお選びください。

応 募 メ 切 2023年12月25日(月)まで

参 加 費 無料
※ご自宅から集合場所までの交通費等は株主さまのご負担とさせていただきます。

応 募 方 法 応募フォームよりご応募ください。ご応募には株主番号の入力が必要となります。



応募フォーム
QRコード

<https://forms.gle/aMa1uF5FGRx1d72U9>

株主番号は、同封の「配当金計算書」または「配当金領収証」に記載されています。

ご希望者多数の場合は抽選となります。抽選結果は2月上旬頃ご登録いただいたメールアドレス宛にお送りします。当選者さまのみへのご連絡とさせていただきますのでご了承ください。

※電話、郵送等での申し込みは受け付けておりませんのでご了承ください。



ご注意事項

※やむを得ない事情により、イベントの日時の変更、または中止とさせていただく場合がございます。その際はご登録いただいたメールアドレス宛にお知らせいたします。
※見学コースは徒歩でご移動いただけます。所要時間は1時間半程度です。段差もございますのであらかじめご了承ください。



山梨社長に聞く
株主さま

Q&A 株主さまアンケートやお問い合わせにてお寄せいただく様々なご質問に、当社代表取締役社長執行役員 山梨 貴昭がお答えします。

Q 株主向けの施設見学会を開催してほしい。

A 当社の事業内容へのご理解を深めていただく機会として、「アマダ・グローバルイノベーションセンター (AGIC)」の見学会を開催いたします。AGICは単なる展示施設にとどまらず、世界中のお客さまとアマダの技術者が新しいモノづくりに挑戦する場でもあります。アマダの新たな試みをぜひご覧いただければと存じます。

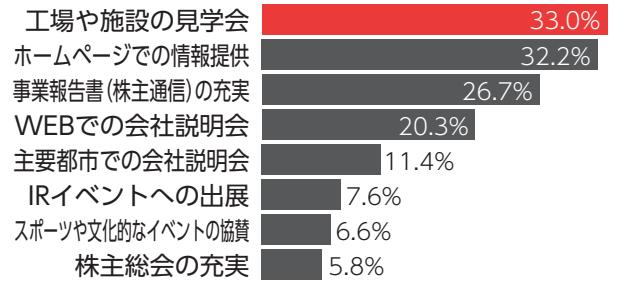
Q 中期経営計画では、女性活躍にも力を入れるそうですね。

A 当社ではESG経営強化の重点課題として「働きがいのある職場づくり」を掲げています。その取り組みの成果が実り、本年初めて「くるみん認定」を取得しました。社員の多様な価値観やライフステージに応じた職場環境を整え、一人ひとりが生き活きと活躍できるような企業を目指します。



株主さまアンケートのご報告 6月発行の「株主・投資家の皆さまへ」の株主さまアンケートにおきまして709名の株主の皆さまよりご回答をお寄せいただきました。その一部をご紹介します。

Q. 当社のIR活動について、特に実施を希望するものは何ですか。(上位8位)



幅広い年代の株主さまにご参加いただきたく、土曜日に施設見学会を開催いたします。ご応募お待ちしております。

Q. 当社のIR活動についてのメッセージ

- 中期経営計画の達成に向けて経営陣、従業員一体となって頑張ってください(60代男性)
- 身近にある機械ではないので、どのように使われているのか実物を見て説明を聞きたいです(50代女性)
- これからも簡潔で分かりやすい株主通信を期待しています(70代男性)
- オンラインでの説明会など効果的な情報発信に努めてください(50代男性)

たくさんのお声をいただきありがとうございます。いただいた貴重なご意見を今後のIR活動に役立ててまいります。

コーポレートデータ (2023年9月30日現在)

■ 会社概要

商号 株式会社アマダ (AMADA CO., LTD.)
創業 1946年9月10日
資本金 54,768百万円
従業員数 連結 9,018名

■ 役員一覧

取締役 会長	磯部 任
取締役 社長執行役員	山梨 貴昭
取締役 専務執行役員	田所 雅彦
取締役 専務執行役員	山本 浩司
取締役 常務執行役員	三輪 和彦
社外取締役	笹 宏行
社外取締役	千野 俊猛
社外取締役	三好 秀和
社外取締役	小部 春美
監査役	
常勤監査役	柴田 耕太郎
常勤監査役	藤本 隆
社外監査役	竹之内 明
社外監査役	西浦 清二

■ 株式情報

発行済株式の総数 359,115,217株 (自己株式 16,537,149株を含む)
株主数 47,967名
所有者別株式分布状況
証券会社 3.8% 自己株式 4.6%
金融機関 42.0% 外国法人等 36.0%
その他国内法人 4.4% 個人等 9.2%

大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	69,670	20.3
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	44,398	13.0
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	11,311	3.3
公益財団法人天田財団	9,936	2.9
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	7,291	2.1
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	7,134	2.1
株式会社かんぽ生命保険	6,077	1.8
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	5,931	1.7
日本生命保険相互会社	5,894	1.7
野村信託銀行株式会社(投信口)	4,036	1.2

※出資比率は自己株式を除いて計算しています。

株主さまアンケートご協力をお願い 下記URLにアクセスいただき、**アクセスコード**入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

株主の皆さまからのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただきます。WEBアンケートを実施いたします。
● アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約1カ月間(2024年1月10日まで)です。

→パソコンから

<https://q.srdb.jp/>

→スマートフォン・携帯電話から

右のQRコードを読み取ることで直接アンケート画面へアクセスできます。

→メールから

enq@q.srdb.jpへ空メールを無記入でご送信いただき、自動返送されるアンケート回答用のURLからアクセスいただけます。

【ネットでのアンケート】は宝印刷株式会社が運営し、ご回答いただいた内容は宝印刷株式会社が管理いたします。宝印刷株式会社については<https://www.takara-print.co.jp/>をご参照ください。ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承認なしにこれ以外の目的に使用することはありません。*アンケートに関するお問い合わせ先: kabu@takara-print.co.jp
*平日17時以降、ならびに土、日、祝日及び年末年始等の休業日中のお問い合わせに関しては翌営業日の回答となります。
【個人情報の取り扱いに関して】お答えいただくアンケートの回答内容・個人情報につきましては、「統計的にデータをまとめたうえで分析し、サービスを改善すること」を目的として利用し、個人が特定できる形で利用されることはありません。その他、個人情報に関する取り扱いに関しては宝印刷株式会社の「個人情報の取り扱い」(<https://www.takara-print.co.jp/privacy/>)のとおりです。

株主総会資料の電子提供制度について

会社法の改正により、株主総会資料が原則ウェブ化されました。

2023年3月以降に開催される株主総会から、株主総会資料を自社のホームページ等のウェブサイトに掲載し、株主様に対して当該ウェブサイトのアクセスURL等を書面により通知する株主総会資料の電子提供制度が開始されました。

(ご参考) 電子提供制度のイメージ



インターネットのご利用が難しい株主様は、「書面交付請求」が可能です。

Q 「書面交付請求」とは？

A インターネットを利用することが困難な株主様を保護するためのお手続きです。お申し出いただいた株主様には株主総会資料を書面でお送りします。なお、書面交付請求を行わなくても、株主総会資料のアクセスURL等を記載した通知は必ず書面にて送られます。

Q 「書面交付請求」の受付期限は？

A 当社の株主総会の基準日である2024年3月31日までに手続きいただくことにより、2024年の株主総会資料を書面で受け取ることができます。詳しくは株主メモのお問い合わせ先にご照会ください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
基準日	定時株主総会の議決権	毎年3月31日
	期末配当金	毎年3月31日
	中間配当金	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月	
株主名簿管理人	〒100-8241	
及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-3-3	
公告方法	電子公告 https://www.amada.co.jp/ja/ir/stock_info/koukoku/ 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。	

株式事務のお問い合わせ先

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
ホームページ: <https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html>
☎ 0120-288-324
(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)



株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ

お取引の証券会社または下記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。
電子提供制度専用ダイヤル ☎ 0120-524-324
(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

株式会社アマダ

〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田 200

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した当社のベジタブルオイルインキを使用しています。